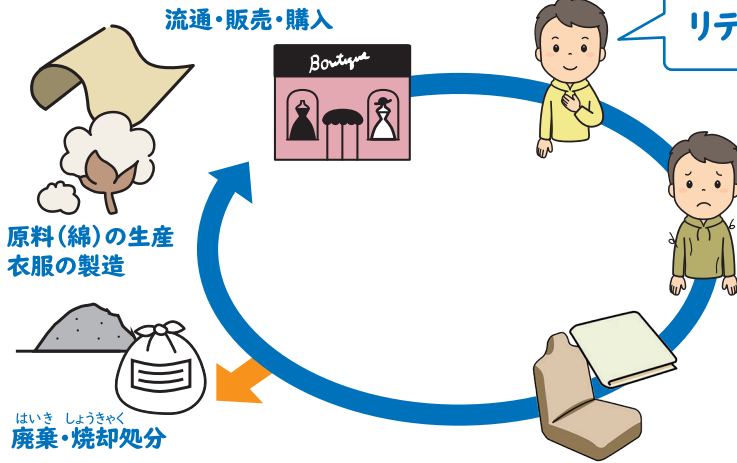


衣食住衣

衣服の製造には石油や水などの資源が使われています。衣服の原材料の調達から、製造、輸送、廃棄にいたるまで、それぞれの段階で環境に負荷が生じています。

日本では年間約100万トン、1人あたり約26枚の衣類が捨てられており、資源が無駄になってしまうだけでなく、ごみの焼却などにも化石燃料を消費します。4Rやリペア、リフォームを意識していきましょう。

衣服の生産から廃棄まで(綿製品)



リフューズ リデュース

- ・衣服を長く大切に着的。
- ・必要な枚数を買う。
- ・長く着られる衣服を選ぶ。



リユース

サイズが合わなくなる。すりきれ。穴があく。

・ほかの人にゆずる。

リペア

何度も補修して着られなくなる。

・補修して着的。 ・作りかえる。

リサイクル

・裁断して、ウエス(工業用雑巾)やシートのクッション材に再生する。



捨てられる服を減らすために、できることにチェックしてみよう。

作られ方をしっかり見よう	<input type="checkbox"/> 環境に配慮された素材や方法で作られた服を選ぶ
買う前に考えよう (リフューズ・リデュース)	<input type="checkbox"/> 今持っている服を大切に扱い、長く大切に着的
	<input type="checkbox"/> 長く着られる服を選ぶ
捨てる前に考えよう (リユース・リサイクル)	<input type="checkbox"/> おさがりや古着などのリユースでファッションを楽しむ
	<input type="checkbox"/> 資源回収や地域の廃品回収に出して資源として再利用する

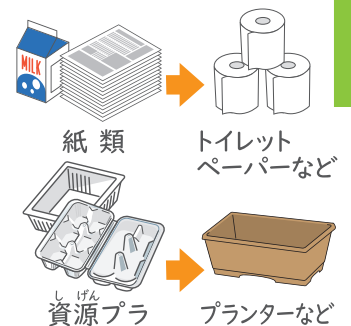


4Rに取り組んでみよう! ごみ分別とリサイクルに注目

大分市は、一人ひとりが環境や資源について考え、ごみにしない工夫や、ごみを減らす努力をし、「4Rの進んだまち」を目指しています。

家庭から出る「燃やせるごみ」の中には、分別可能な資源物である「紙類」や「資源プラ」などが混入しています。ごみを正しく分別することで「燃やせるごみ」の量が減り、ごみ処理で発生する二酸化炭素の量を減らすことにもつながります。

「燃やせるごみ」の中の「紙類」や「資源プラ」は、正しく分別することでリサイクルされ、新たな製品に生まれ変わります。



4Rクイズ

次の取り組みは、どの「R」に当てはまるかな? ヒントは4ページ! 答えは、ページ下にあるよ!



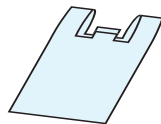
大分市ごみ減量・リサイクル推進イメージキャラクター
リサイクルン

Q1



詰め替え商品を利用する。

Q2



マイバッグを持参し、レジ袋を断る。
(1枚:約5~7グラムの減量)

Q3



壊れたものは修理する。
リユースショップを活用する。

Q4



新聞やチラシ・空き缶を集団回収に出す。

(新聞・チラシ1日分:約180グラムの減量)
(1缶:スチール缶約30グラムの減量)
(1缶:アルミ缶約20グラムの減量)

【発行】大分市・地球温暖化対策おおいた市民会議 【事務局】大分市環境部環境政策課

電話: 097-529-7243 FAX: 097-534-6252 E-mail: datutanso@city.oita.oita.jp